三豊市（みとよし）

議会だより

https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/index.html

5月号 2023年 No.50

議会報告会開催（詳しくは5ページ）

3月定例会

❷議会だよりは50号を迎えました ～50人インタビュー～　❻税金のつかいみち
❼審査報告　❽議案報告　❿審議結果　⓫代表質問　⓰一般質問
⓴常任委員会審査報告　㉒意見交換会・視察研修報告・議員研修会・お知らせ
㉔ほいくしょ紹介

今月の三豊市民　こすもす広場スタッフの皆さん

三豊市（みとよし）議会だより 2023年5月号
令和5年5月1日発行

ほいくしょ紹介

山本保育所

天気のいい日は、園庭で、遊具遊びやかけっこなどをして体を動かしたり、砂場でごちそう作りごっこをしたりしています。この写真は、1歳児の子どもが「何作ってるの?」と2歳児の遊びを真似してまつぼっくりソフトを作っているところです。

南部保育所

保育所周辺は豊かな自然に恵まれ、日々散歩を楽しんでいます。自然と触れ合い五感を通していろいろな体験ができ、たくさんの発見があります。子どもたちは、土手滑りが大好き。登ったり滑ったり足腰が強くなり、元気いっぱいの南部っ子たちです。

須田保育所

毎年恒例、4,5歳児での博智山（ばくちやま）登山。手づくりの階段や岩に足をかけながら、やっとの思いで、大きな八畳岩（はっちょいわ）に着いた子どもたちは、遠くに見える保育所に向かって「おーい」と声をあげていました。友達と一緒だと笑顔が溢れます。

三野保育所

5歳児の修了を祝い、お別れ会を開きました。ふれあい遊びやクイズなど、楽しい時間を過ごした後、4歳児が感謝の気持ちをこめて手作りプレゼントを5歳児に贈りました。笑顔あふれる心温まる会となりました。

編集後記

紫雲出山を筆頭に市内の桜に心和まされた春。今号は50号記念ということで50名の市民の方々に「議会に期待すること」をアンケートさせていただきました。さまざまな意見を頂戴しましたが、何よりも普段聞けない皆さまの気持ちを聞かせていただけたことが嬉しく、今後も広報を利用して議会と市民の皆さまとの距離を近づけたいと思いました。満開の桜のように皆さまに求められる広報になれるよう、これからも努力してまいります。（湯口）

今月の三豊市民

こすもす広場　小野詔子（おのりこ）さん（財田町）

毎週金曜日、「サロン」として親しまれている居場所をみんなで運営しておられます。多くの仲間がいたから、スタッフも参加者も楽しいからここまで続けられたとのこと。スタッフよし、参加者よし、地域よし、三方よしの精神に感銘を受けました。

（取材：丸戸）

QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

議会広報委員会
委員長　田中　達也
副委員長　近藤　武
委員　丸戸　研二
石井　洋介
市川　勢三
湯口　新
瀧本　哲史

R70　VEGETABLE OIL INK
この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集
三豊市議会・議会広報委員会　〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1
TEL.0875-73-3009　FAX.0875-73-3024　E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp

議会だよりは50号を迎えました。

平成25年5月号から単独発行を開始した議会だよりは、今月号をもち、50号を迎えました。50号を記念し、50人の市民の皆さまに「議会に期待すること」を伺いました。

議会だより50号50人インタビュー

日頃から議会活動ならびに市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

デジタル化が進む中ではありますが、「議会だよりを読んでいます」というお声を多くいただいております。

今後とも開かれた議会を目指し、議会だよりをはじめとした議会広報の充実に取り組んでまいります！

議長　浜口 恭行

議会だより

50号 50人

インタビュー

議会に期待することはなんですか？

小売店の活気が出る
まちづくりをしてほしい
関　太郎さん

活気のある市にしてほしい
琢磨 三千代さん

宝山湖ボールパークの
さらなる発展を
山本 尚樹さん

お祭りやイベント等を
増やしてほしい
植田 奈津希さん

人口減少を食い止め
人口を増やして
嶋田 淳子さん

子育てしやすい市にしてほしい
大西　駿さん

人に優しく温かい
共生社会を目指して
林　和夫さん

市民の声をしっかり
市政に生かしてほしい
綾　英光さん

子育てのサポートを
もっと充実させてほしい
藤田 貴士さん

保育園の配置基準を少なくして、
子ども一人一人に対して今以上
目が届く状況にしてほしい
稲葉 明日香さん

議会の仕事ぶりが分かり
づらいので、情報発信を分かり
やすくしてもらいたい
樋本 亜由美さん

歩けるまちづくりを。街路灯や、
ウォーキングやランニング時の歩道の
整備をもっとしてほしい
塩田 愛子さん

住みよいまちづくりを
してほしい
曽根　修さん

三豊市の観光対策や、
支援を充実させてほしい
詫間 克彦さん

子ども目線での、子育て支援を
考えて、子どもの過ごしやすい
環境を作ってほしい
大河内 英理子さん

郵便局で市の事務を
委託してほしい
横山 雅彦さん

教育、防災、観光を
基本とした庁舎周辺整備
眞鍋 誠至さん

安全に暮らせる
まちにしてほしい
吉田 ひとみさん

保育園学級の少人数制と、
保育施設の近くに公園を
設置してほしい
濱野 このみさん

引き続き、保育所で食べる
給食は、保育園内で調理した
ものにしてもらいたい
川崎 美香さん

三豊市の会計年度任用職員の
待遇を、もっと良くしてもらいたい
加藤 三恵子さん

有言実行 !!
浪越 弘行さん

市の情報を、もっと市民に
届けるように努力してもらいたい
宇川 美穂さん

子育て支援と、三豊市の
農業の特色を出せるように
してもらいたい
岩倉 桂子さん

働き、子育てをする人が
住みたいと思う市に
河野 健三さん

三豊で共にアボガドの
産地化を目指そう
安藤 数義さん

広い分野に目を配り
三豊を盛り上げてほしい
大西 美佐子さん

人口減少に伴い
議員定数も削減せよ
後藤 章吉さん

議会だより 50号 50人 インタビュー

議会に期待することはなんですか？

独居高齢者も安心できる安全なまちづくり
岡　緑さん

再々質問等はやめて、一回で決着が着くようにお願いしたい
浪越 重喜さん

三豊市内の企業の支援と施策を考えて
光井 初美さん

高齢者の安全安心な生活と、福祉の充実
安藤 芳徳さん

災害が少なく気候も良いまちを全国に紹介
堤　順子さん

高瀬駅をきれいにしてほしい
石井 友己さん

子どもたちの習い事を応援してほしい
原　章人さん

コミュニティバス運行路線の見直しを
伊藤 洋子さん

子育て支援と少子化対策に力を入れてほしい
鈴木 久美子さん

三豊市独自のイベントやお祭りと観光産業
大平 俊幸さん

三豊市の特徴を生かした住みよいまちに
岡崎 一江さん

お年寄りが安心して免許返納できる市に
佐々木 理子さん

住民の声を聴き、身近に感じる議会活動を
大西 妙子さん

点から面へ現実と時代に合ったルール改正を
西野 智美さん

三豊市のデジタル化の推進
大前 克行さん

女性、若い人が議員に立候補できる環境づくり
小山 敬二郎さん

公園と小児科を、三豊市内にもっと配備してほしい
真鍋 恵美さん

「企業誘致」より「産業誘致」を考えるべき!!
大矢根 捷人さん

50人の市民の皆さま、広報委員の取材に快く応じてくださり、ありがとうございました。いただいた貴重なご意見は、議会一丸となって、これからの活動に生かしてまいります。

5月には議会報告会を開催します。令和5年度の主要事業等について議会の審査結果を報告し、市民の皆さまから議会や市政に対するご意見をお伺いします。

ぜひ皆さまの声を聴かせてください。

若い世代が明るく元気になる街にしてほしい
大西 栄治さん

企業を誘致して雇用を増やしてほしい
松田 真智子さん

アクティブ・アーバンスポーツ、フィッシングエリア施設
藤目 尚久さん

多様性のある、市民に寄り添った議会を望む
眞鍋 範子さん

三豊市議会報告会　議員とお話ししませんか

開催日程　　市内3会場とオンライン(Zoom)を予定しています。

開催場所	日時	出席議員
オンライン(Zoom)※1	5月17日(水) 19：00～	岩田 秀樹　西山 彰人 高木 修　近藤 武 田中 達也　湯口 新
開催場所	**日時**	**出席議員**
山本庁舎 2階 大会議室	5月18日(木) 19：00～	為広 員史　三宅 静雄 金子 辰男　丸戸 研二 三谷 正史
マリンウェーブ イベントホール	5月20日(土) 19：00～	横山 強　三木 秀樹 西山 彰人　込山 文吉 水本真奈美
みとよ未来創造館 3階 大ホール	5月23日(火) 19：00～	詫間 政司　城中 利文 川北 善伴　石井 勢三 高木 修　瀧本 哲史

※1 オンライン(Zoom)開催については、前日までに市議会ホームページ(右のQRコード)から、お申し込みください。

◆ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を見合わせる場合があります。

三豊市議会 で検索

議会報告会へのアクセスはこちらから

市の予算は議会でしっかりチェック！

令和5年度の税金のつかいみちが決まりました

3月定例会では市長から提出された予算案について、予算特別委員会を設置し、市長や市の執行部に質疑を行い、審査を行いました。

本市は、5年連続で財政調整基金の取り崩しを行っており、財源不足が経常的になっているため、今年度は真に必要で緊急性の高い実現可能な事務事業についてのみ、予算化したとの説明を受けました。

今年の主な新規事業・重点施策を紹介します。また、委員会での質疑の内容は7ページに掲載しています。

令和5年度 予算

一般会計	341億7000万円
特別会計（9会計）	174億3300万円
企業会計	24億2040万9千円

原案可決

令和5年度主要新規事業および重点施策

今年度の主な新規事業・重点施策を紹介します。

消防施設一般経費
〔事業費〕2億5424万1千円

三豊市消防団再編計画に基づき、屯所の建て替えや車両の更新等を行う。

公共施設再配置事業
〔事業費〕4億6145万7千円

旧詫間庁舎および旧山本保育所等公共施設の解体工事を行う。

保育所総務管理事業
〔事業費〕5億7859万9千円

松崎地区就学前施設建設工事の実施設計および詫間保育所トイレ改修工事等を行う。

幼保連携型認定こども園総務管理事業
〔事業費〕3億2750万9千円

財田こども園増築工事および仁尾こども園空調設備整備工事等を行う。

豊中地区新設小学校建設事業
〔事業費〕1億8757万3千円

豊中地区新設小学校建設用地の取得および基本設計等を行う。

社会教育施設管理事業
〔事業費〕3億320万8千円

大浜コミュニティセンター（仮称）建設工事および三野町公民館大見分館解体工事等を行う。

地球温暖化対策事業
〔事業費〕9243万4千円

ZEH※（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）補助金を創設し、環境性能の高い住宅導入を促進する。

子ども医療費助成事業
〔事業費〕2億8104万9千円

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子どもの医療費の一部を保護者に助成する。

使用済み紙おむつ処分事業
〔事業費〕459万2千円

保育所・こども園・幼稚園での使用済みオムツの持ち帰りを廃止する。

空家等対策事業
〔事業費〕8752万9千円

周辺に危険を及ぼす恐れのある老朽危険空き家の除却支援や空き家バンク、空き家バンクリフォーム事業を実施する。

教育総務管理事業
〔事業費〕2億3734万2千円

小・中学校の校務支援システム刷新ネットワークを構築し、業務の改善を図る。

保健体育推進事業
〔事業費〕3031万8千円

市長杯や地区体育祭の開催、三豊市文化・スポーツ振興事業団による部活動の地域移行および地域文化・スポーツの活性化を推進する。

※ ZEH（ゼッチ）…エネルギー収支をゼロ以下にする家

予算特別委員会審査

2月24日・3月13日・14日・15日・16日・22日と予算特別委員会を開催し、令和5年度一般会計予算など、計11議案の審査を行いました。

主な質疑と答弁

総務部関係

問 公有財産管理事業の使用料および賃借料、駐車場土地借上料等ということで、735万5千円計上されているが、単年度契約なのか複数年なのか、借り上げの単価はいくらなのか。

答 職員駐車場の契約については、単年度ということで、毎年契約書を締結している。賃借料については、1区画当たり月1千円ということで契約書に明記し、支払いをしている。

政策部関係

問 まちづくり推進隊の事業費が出ているが、一律8％カットにした根拠は何か。

答 交付金を使って事業をした結果、余剰金があり、毎年返還金が生じている。一律カットではなく、今年度からは、返還金が出るのであれば、過去3年間の各推進隊の事業費交付金の金額の実績額を平均して、この予算としている。

農政部関係

問 香川用水の賦課徴収に係る業務で、水を使っていないが、賦課金だけを納め続けなければならないという農業者の声を聞く。受益地から退きたいが、高額な違約金で払えない実情があると聞くが、そういう声を把握しているのか。

答 声が上がっていることは十分理解している。ルール変更を決定するのは香川用水土地改良区なので、その動向を十分に把握して、意見も出していきたい。

建設部関係

問 市単独道路橋梁新設改良事業で、予算が前年と比較して相当減額をされているが、対応する路線がすでに終わったためなのか。また、特定財源の1億7770万円は、市債となっているが、この市債の種別は何か。

答 現在進めている工事が終わったということではなく、総額の中で検討した結果でのこと。特定財源の市債については、合併特例債または過疎債を充当している。

教育委員会関係

問 小学校総務管理事業の報酬で、特別支援教育支援員が前年度より4名増、給料で、講師が前年度は17人いたが今年度は5人、中学校総務管理事業で、特別支援教育支援員が前年度の28人が今年度からは18人。増減の根拠を問う。

答 特別支援教育支援員の人数は、各学校からの要望により、学校教育課内で指導主事も交え精査する中で、必要数を見込んだ数字として、実情に合わせて人数を計上している。

みとよ市民病院関係

問 訪問看護事業の収益で3590万9千円、それに対して、支出で、訪問看護事業で4686万7千円。1千万の赤字が出るという計算だが、それでいいのか。

答 訪問看護事業収支は、このままの予算どおりだと、この差額が赤字ということになる。この事業が必要であるということの判断で運営をしている。赤字のままでいいというわけではなく、収支均衡に近づけたいと考えている。

▲みとよ市民病院

総括質疑関係

問 豊中地区新設小学校建設事業に係る周辺環境整備予算について、令和8年4月の開校に向けた用地取得等の経費1億8757万3千円が計上されているが、新設小学校建設用地周辺の環境整備における教育委員会部局以外の今年度予算の計上状況と、開校までの事業計画を伺う。

答 建設用地周辺道路を含む通学路整備、安全施設整備など現状調査に基づく整備要望事項が間もなく提出されてくる。優先度を設定した上で、順次予算計上し、整備してまいりたい。

▲豊中地区新設小学校（仮称）の建設予定地

以上、反対討論も経て、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

令和5年 第1回定例会
定例会の概要

【会期 2月24日～3月27日（32日間）】

今定例会では次のことが決まりました

○令和4年度補正予算　11件可決
○令和5年度予算　11件可決
○条例に関する議案　15件可決
○その他の市長提出議案　1件可決
○人事案件　3件同意
○請願　1件採択
○意見書案　1件可決
○議員派遣　1件可決

主な議案をご紹介します。

ごあいさつ

三豊市議会副議長
市川 洋介

このたび、令和5年三豊市議会第1回定例会におきまして、市議会副議長に選任されました。その重責と使命の重大さを痛感するとともに、微力ながら最善を尽くして職務の遂行に取り組んでまいりたいと存じます。

新型コロナウイルスが5月8日から国により第2類から第5類とされますが、インフルエンザ同様にこれからも引き続き新型コロナウイルスとは対峙していかなければなりません。

ロシアによるウクライナ侵攻とアメリカFRBによる政策金利上昇により、あらゆるものの急激な値上げで世界経済の大きな変革期であります。

そんな中、活力あふれる三豊市に向け、浜口議長を補佐し、新しい自覚と決意を持って誠心誠意、市政伸展のため全力を捧げる覚悟です。今後とも、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

補正　令和4年度3月補正予算　可決

●一般会計		8億8598万9千円 358億9397万5千円	減
●特別会計	国民健康保険事業特別会計	7501万円 82億4858万円	減
	国民健康保険診療所事業特別会計	160万9千円 1億6346万5千円	減
	後期高齢者医療事業特別会計	2260万2千円 11億5344万7千円	減
	介護保険事業特別会計	1億2246万6千円 79億6973万2千円	減
	介護サービス事業特別会計	1073万5千円 8226万5千円	減
	集落排水事業特別会計	203万1千円 1億9984万円	減
	浄化槽整備推進事業特別会計	341万円 2億2459万円	減
	港湾整備事業特別会計	79万6千円 2334万1千円	増
	国道用地先行取得事業特別会計	2865万1千円 1億7379万5千円	減
●企業会計	病院事業会計	1584万8千円 33億7866万5千円	減

議案 Pick Up

一般会計補正予算
コロナ禍により経済状況が悪化している市内事業者の支援と地域内の消費喚起を目的として、MitoPayプレミアムポイント事業を実施する経費や、生活保護の増加、有害鳥獣捕獲数の増加に対応する費用の増加が含まれています。

三豊市地域交流館条例の制定

市民の文化の向上および福祉の増進を図り、地域活動の振興を図るための拠点として設置される「地域交流館」の使用料等が定められた条例です。

新設された「三豊市地域交流館大見」が対象となります。

▲三豊市地域交流館

三豊市スポーツ推進条例の制定

市民の心身の健康およびスポーツを通したコミュニティーの活性化を目的とした条例です。スポーツの推進に関する基本理念、市の責務、市民・スポーツ団体・事業者それぞれの役割と、スポーツ振興施策の基本事項が定められています。

請願

「香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書」の提出を求める請願　採択

意見書案

香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書について　可決

人事案件（敬称略）　同意

教育長の任命
大原 一仁（山本町）

人権擁護委員候補者の推薦
十川 剛（豊中町）
本田 惠子（詫間町）

議会日誌

1月

18日	教育民生常任委員会視察研修（～20日）
19日	総務常任委員会対話集会
23日	県市議会議長会県外合同視察研修（～24日）
24日	公共施設再配置特別委員会
25日	議会活性化特別委員会
26日	総務常任委員会
27日	広聴会議

2月

2日	教育民生常任委員会
3日	香川県広域水道企業団議会
	三豊市議会議員研修会
6日	議会広報委員会
7日	市民建設常任委員会
9日	県市議会議長会議員研修会
10日	全国離島振興市町村議会議長会
15日	市議会議員共済会
	会派会長会
16日	公共施設再配置特別委員会
17日	議会活性化特別委員会
	県離島振興市町村議会議長会
20日	議案研究会
	議会運営委員会
21日	香川県市町総合事務組合議会
	議会運営委員会
24日	中部広域競艇事業組合会議
	三豊市観音寺市学校組合議会
27日	本会議
	議会運営委員会
28日	全員協議会
	予算特別委員会
	議会運営委員会
	県後期高齢者医療広域連合議会
	三観広域行政組合議会

3月

1日	総務常任委員会
2日	教育民生常任委員会
3日	市民建設常任委員会
7日	議会運営委員会
	本会議（補正予算等議決、代表質問）
8日	本会議（代表質問・一般質問）
9日	議会広報委員会
13日	予算特別委員会
	議会活性化特別委員会
14日	予算特別委員会
	広聴会議
15日	予算特別委員会
16日	予算特別委員会
22日	予算特別委員会
	会派会長会
23日	議会運営委員会
	全員協議会
24日	公共施設再配置特別委員会
27日	本会議
	議会活性化特別委員会
30日	三豊市観音寺市学校組合議会
	三豊総合病院企業団議会

4月

5日	県市議会議長会
6日	議会広報委員会
10日	議会広報委員会
	広聴会議
13日	議会活性化特別委員会視察研修

視察に来てくださいました

【地域公共交通等の活性化について】
1月19日　松阪市議会　会派　市民クラブ

【不登校特例校　高瀬中学校（夜間中学）の取り組みについて】
1月24日　町田市議会　会派　公明党

【議会の広報・広聴活動について】
1月24日　基山町議会　広報広聴常任委員会

【不登校特例について、介護送迎の共同運行について】
2月 2日　吉野川市議会　会派　吉野川政友会いろは

【スポーツ指導員人材バンクについて、夜間中学について】
2月14日　総社市議会　議員

【バイオ資源化センターみとよについて】
1月19日　裾野市議会　総務委員会
2月17日　四国中央市議会　総務市民委員会

令和5年第1回（3月）定例会　審議結果

■全員が賛成した議案

議案名等
令和4年度三豊市一般会計補正予算（第9号）
令和4年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
令和4年度三豊市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第4号）
令和4年度三豊市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）
令和4年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
令和4年度三豊市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）
令和4年度三豊市集落排水事業特別会計補正予算（第4号）
令和4年度三豊市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第1号）
令和4年度三豊市港湾整備事業特別会計補正予算（第3号）
令和4年度三豊市国道用地先行取得事業特別会計補正予算（第3号）
令和4年度三豊市病院事業会計補正予算（第3号）
令和5年度三豊市国民健康保険事業特別会計予算
令和5年度三豊市国民健康保険診療所事業特別会計予算
令和5年度三豊市後期高齢者医療事業特別会計予算
令和5年度三豊市介護保険事業特別会計予算
令和5年度三豊市介護サービス事業特別会計予算
令和5年度三豊市集落排水事業特別会計予算
令和5年度三豊市浄化槽整備推進事業特別会計予算
令和5年度三豊市港湾整備事業特別会計予算
令和5年度三豊市国道用地先行取得事業特別会計予算
令和5年度三豊市病院事業会計予算
三豊市地域交流館条例の制定について
三豊市スポーツ推進条例の制定について
三豊市防災センター設置条例の一部改正について
三豊市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
三豊市国民健康保険条例の一部改正について
三豊市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び三豊市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
三豊市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
三豊市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
三豊市市営住宅設置及び管理条例の一部改正について
三豊市定住促進住宅設置及び管理条例の一部改正について
三豊市公民館条例の一部改正について
三豊市たくまシーマックス条例等の一部改正について
三豊市宝山湖公園条例の一部改正について
第4期三豊市地域福祉計画の策定について
三豊市子ども医療費助成に関する条例等の一部改正について
人権擁護委員候補者の推薦について（十川　剛）
人権擁護委員候補者の推薦について（本田　惠子）
「香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書」の提出を求める請願
香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書
議員派遣について

▲人事案件（敬称略）

■ 賛否が分かれた議案

議案名等＼議員名	1 西山 彰人	2 三木 秀樹	3 瀧本 哲史	4 三谷 正史	5 金子 辰男	6 湯口 新	7 田中 達也	8 市川 洋介	9 石井 勢三	10 近藤 武	11 高木 修	12 岩田 秀樹	13 丸戸 研二	14 川北 善伴	15 水本真奈美	16 込山 文吉	17 城中 利文	18 横山 強	19 浜口 恭行	20 詫間 政司	21 為広 員史	22 三宅 静雄	議決結果
令和5年度三豊市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	－	○	○	○	原案可決（賛19、反2）
三豊市敬老祝金条例の一部改正について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	原案可決（賛19、反2）
三豊市教育委員会教育長の任命について（大原　一仁）	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	原案可決（賛19、反2）

※○：賛成　●：反対　欠：欠席　退：退席　除：除斥　※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長　19番　浜口　恭行）

▲人事案件（敬称略）

3月7日・8日に各会派を代表して、8人の議員が代表質問を行いました。質問者順に要旨を掲載します。

施策を問う

清風会

近藤　武　議員　／　詫間政司　議員

予算案から見た財政見通しについて

問 令和5年度予算案には、第2次総合計画に示された施設整備予算が計上されていないものがある。合併特例債の発行期限の令和7年度まで3年となる時期に、予算提案されていない理由を問う。また、発行限度額まで執行した場合の財政見通しを問う。

答 財政収支計画の見通しを行ったところ、合併特例債を発行限度額まで活用した場合、令和7年度の起債残高は367億円余となり、借金の支払いは令和10～12年度まで毎年40億円を超える見込みとなった。また財政調整基金も令和7年度で枯渇することとなり、非常に厳しい財政運営が予想される。第2次総合計画に示された施設整備などの大型建設事業は、令和7年度までに確実に完了できる事業について予算計上した。現時点で調整できていない事業は、本年度の予算計上は見送っている。

多種多様化していく行政課題の対応について

問 行政サービスは、合併当初から比べ制度は複雑化し、高い専門性が求められている。今後、より多種多様化していく行政需要に対応するためには、定年延長制度を見越した人員配置や事務事業の整理集約が必要と考える。

答 市民サービスの質を落とすことなく、持続可能な行政運営を行うためには、事務事業の整理集約が必要だ。現状の仕事の棚卸を実施するとともに、基本計画で取り組んできた事業の成果を検証し事務事業の精査を行う。また、定年延長者の知見を生かした適材適所の人員配置にも努め、業務負担の軽減を図り職員が笑顔で働ける環境を整えることで、市民サービスの向上につなげていく。

▲質の向上は語らうゆとりから

健康とは

問 ベーシックインフラ構想は、住民、地域、企業と一緒に必要なインフラ整備をすることや、デジタルを活用した共助ビジネスモデルを構築するとのことであるが、令和5年度よりデータの連携基盤の活用が始まり、民間が持つビッグデータとどのように連携していくのか。また、ベーシックインフラが必要な高齢者の方々にどのように利用してもらうのか。

答 デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、データ連携基盤の整備に取り組んでいるところである。今年度はまずさまざまな実証事業を行い、運動、睡眠、食事などの行動変容による血液検査結果などの健康データを約100人分収集し、分析を進めている。また、健康アプリ「みとよヘルスカンパニー」を通じて登録いただいた約700人のユーザーの皆さんの歩数、血圧、体重、睡眠、そこから導き出された歩行距離、消費カロリーなどの健康データなども収集したが、まだ半年程度の取り組みということで、まだまだ十分な種類、量のデータではなく、今後これらに加え健康に関わるあらゆるデータを集積していく。市民一人一人が健康で生涯を通じて生き生きと暮らすことができる取り組みが重要となり、そのためには疾病、発病の未然防止や早期発見、生活習慣の見直しが不可欠である。今後はどのような生活をしていると健康にどう影響するのか、どのような施策が健康にどう影響するかなどの観点から必要なデータを収集、分析し、健康施策に生かしていく。

▲地方創生のかぎとなるベーシックインフラ

詳しくは、
◀三豊市ベーシックインフラホームページへ

その他の質問

○類似サービスの効率的運営について
○教育・部活動・放課後改革とは
○三豊市独自の脱炭素社会とは
○デジタル化について
○移住定住、観光、関係人口について

原稿は質問者本人が書いています。

QRコードを読み取ると各議員の質問の動画が視聴できます。
令和5年第1回定例会会議録は6月上旬に掲載予定
三豊市議会HP ▶ 会議録検索システム をクリック

自民新政会

城中利文
議員

にぎわいが地域を元気にするまちについて

問 水産資源の確保、供給のための稚魚の放流数や成果は。鶏糞由来の海洋栄養ブロックを活用し、藻場を育成しようとする要望に関しての市長の考えは。

答 毎年、約500万円分の稚魚の放流を行っている。効果の具体的な数値化は難しいが、放流を止めると確実に漁獲量は減少する。海洋栄養ブロックについては、関係機関と連携し、積極的に後押しをする。

問 魅力的な観光地域づくりのための、詫間の造船跡地のにぎわい創出とは。また父母ヶ浜の駐車場の有料化等、観光地としての在り方とは。

答 箱物構築ではなく、コストを抑えたかたちで、柔軟な土地利用を考えており、地域住民の憩いの場として開放し、人の交流を促進し、にぎわいの創出につなげていく。父母ヶ浜の駐車場の有料化は、ハイシーズン中にオンラインで事前予約を導入し、実験的に実施している。さまざまな形態を検討し、持続可能な観光地に向け、地域や議会の皆さまと協議を行いながら、有料化に向けて進めていく。

人と自然が守られる定住のまちについて

問 巨大地震に備えて、施設の耐震化状況、避難場所数、備蓄品数は。

答 防災拠点となる公共施設は、建て替え、用途廃止等により、耐震化率を向上させている。避難所は市全体で75カ所あり、備蓄品は、最大クラスの地震が発生した場合の避難者数を想定し、阪神・淡路大震災の事例をもとに割り出した1万3200人の1日分を、県と市で半分ずつ備蓄する計画となっており、指定避難所等に備蓄している。被害を最小限にとどめられるまちづくりに努める。

三豊市の将来像について

問 市の人口が合併以来減少し続け、6万人を切っている現状に対し、歯止めをかける施策はあるのか。身の丈に合った公共施設の在り方をどのように考えているのか。

答 妊娠・出産の経済的支援、満18歳までの医療費の無償化等、少子化対策に全庁挙げて取り組む。公共施設は一般競争入札等を行い、これまでの貸与という固定概念にとらわれず進めていく。

立憲（CDP）

三木秀樹
議員

マイナンバーカード制度に対する高齢者の「不安は」高まるばかり、不安解消の対策を聞く

問 信頼できない岸田政府は、アベ政権が始めたこの制度をより巧妙に、運転免許証、介護保険証とカードの一体化を次々と、より反対できない状況を意識的に行っている。カードを持たないと暮らせない管理社会を目指しているのでないか、高齢者の不安は増している。声を聞く窓口はどこに。

答 従来どおり、市職員全員が市民の声を受け、担当課で取りまとめて、問い合わせに対応する。

問 マスコミは報道しないが、米国の2017年の1億数千万の情報流出。韓国の2014年の1億超の情報のハッキング。マイナンバーへの「紐づけ」は民間情報が持つ多面的個人情報を集約する管理社会の流れになっている。その方が「私らの面倒見てくれるでしょう」の声に、政府は「面倒見るのは、あなたではない」とは言わない。

先を想像して、「その時」のための対応策は。

答 われわれは、結びついていないがあらゆる情報は全て番号で管理されている。現在も、今後も「結びつかない」よう監視しなければならない。

不安が増大した時は、それに対応する専門部署の設置が必要になると思っている。

14年前、現業職員は「正規採用しない」とする判断を、情勢の変化に即応して見直す時期では

問 市内の生産年齢人口は、20年間（2028年）で1万5千人働き、納税する市民が減少すると確実視されている。この間、働く環境も大きく変化し、非正規でなく正規化で、安心して子育て、生活できる環境の充実が求められ、人口減少の歯止めは離職でなく「定職定住」だ。だが市の学校給食等で働く大多数の職員は、14年前（平成21年）の市長判断により、正職員になれず長きにわたり臨時職員（現、会計年度職員）として働いている。経験、見識を生かし、法（情勢適応の原則）に即して正規化する時代だと思うが。

▲学校給食等で働く職員の踏ん張りに応える時代ではないでしょうか

答 人口減少の歯止めは指摘どおりだ。市役所も事業所の一つであり、市の限られた経営資源ではあるが、指摘の学校給食等で働く会計年度職員の方々の正規化は、培われた知見や実績は有益な「即戦力」であり、確実に市民サービスへの効果が期待できる。採用を積極的に行い、応募での競争選考制度を取り組む方向だ。

問 正職員になれる道の選択肢に、職員のモチベーションは高まると思うが、それは、いつから。

答 制度設計の部分を考えている。早い時期にスタートさせたい。

公明党

込山文吉
議員

SDGs※未来都市三豊について

問 過去の質疑で「未来都市の認定以降職員がSDGsの視点を意識した業務遂行を心がけるよう、研修も行っている」との答弁があったが、職員に対する意識調査結果では「普段の業務の中でSDGsを意識している」は16％である。職員の理解度を上げ、捉え直すことが必要ではないか。

答 意識を高く持つ必要がある。SDGsの推進を目的ではなく手段と捉え、職員一人一人が各業務において持続可能という考えで、まちづくりにつなげていく。

効率的で健全な財政運営

問 合併特例債ありきではなく国の財源などを活用する調査はできているのか。合併特例債の発行期限である令和7年度までにやるべき事業と8年度以降の計画の選択を行い、特例債終了後は有利な財源の確保をすることで事業に取り組んでいく。

三豊市文化・スポーツ振興事業団について

問 「部活動の地域移行の受け皿」となる「みとよフューチャーズ」設立にはスポーツ指導員人材は何人必要か。振興事業団へのバックアップ体制の考えも聞く。

答 みとよフューチャーズは地域の方々がそれぞれの地域でやりたい文化・スポーツ活動を行うための地域クラブである。小規模な活動実績を積み重ね将来的に子どもたちの放課後改革に繋がる地域総合型クラブに成長させていきたい。人数が少なくても取り組める種目から着実かつ確実に進めていく。

事業団の活動や部活動の地域移行については事業団を中心に関係課による連携が必要。学校、保護者、関係機関との協議会の設置も視野に検討していく。

人材については、地域おこし協力隊、企業版ふるさと納税などの制度を活用し、幅広く人材を募っていく。

▲部活動の地域移行の一環として行われたキャッチボールクラシック三豊大会

原稿は質問者本人が書いています。

※ SDGs…持続可能な開発目標の略
2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標

桜の木

田中達也
議員

施策の中心的役割を果たすデジタル化とベーシックインフラ構想

問 ※データ連携基盤に市から提供するデータはどのようなものか。

答 公共施設一覧や、地域、年齢別人口など14のオープンデータを連携させ、本人から同意の得られたデータや、公示されている不動産データなどを出す。

問 ※ZEH補助と関連して健康面から住宅のデータを収集すべき。

答 速やかに検討に入りたい。

問 自治会からの要望等対応待ち案件をデータベース化し公開すべき。

答 データ化することを考えている。公開については慎重な検討を要する。

問 市民のデジタル活用力を高める取り組みを実施すべき。

答 デジタル活用を浸透させるためには、デジタル推進委員の取り組みを活用することも重要であり、市民の皆さまと一体となって、デジタルディバイド対策に取り組むことこそが共助の取り組みの一つであると考えている。

▲デジタルディバイド解消に向けたまちづくり推進隊詫間の取り組み「デジタル推進委員になろう」

志政会

丸戸研二
議員

人口減少に歯止めが掛からない

問 若者が三豊市で活躍できる基盤強化が必要ではないか。

答 既存補助制度の推進と合わせて、県の助成制度に上乗せも含めた制度の検討を進めることにより、一層の企業誘致、企業立地に取り組む。

問 次なる少子化対策は計画しているか。

答 令和5年度から、これまで15歳だった子ども医療費助成を18歳まで引き上げる。

問 真の過疎対策に取り組むべきでないか。

答 令和5年度において、大きな対策の打ち出しはやりたい。また、計画期間である令和7年度までに、地域の声をしっかりと聞きながら地域のニーズに合った事業に取り組みたい。

コロナを克服するための農業振興対策

問 令和5年度において、三豊市独自の農家、農業者を元気づけるための物価高騰対策を打つべきではないか。

答 国、県に対して支援の継続を要望すると同時に、本市においても喫緊の課題として必要な対応については優先的に取り組みたい。

問 農家の稼ぐ力を高めるための取り組みが必要ではないか。

答 JA出荷を主軸に置きながらも、自ら販売先を選択できるよう、複数の販売ルートを農業者の皆さまに提案したいと考えている。

自民創生会

石井勢三
議員

市民が可能性を切り開くまちづくりについて

問 人口減少や超高齢化社会の到来により、地域コミュニティー力の低下が懸念される。市役所周辺で、子育て支援センターの計画もあるなら、民間を巻き込んだ、気楽に行けるコミュニティーの場が欲しいとの声も聞く。地域の中で生き生きと活動するため、環境づくりとしての計画を問う。

答 本庁舎から高瀬駅にかけて国の補助事業である都市構造再編集中支援事業の活用を視野に、子育て支援拠点を核とした施設整備の実現に向け、検討している。その中で、コミュニティーの場や公衆用トイレ等の課題についても併せて検討している。毎日の楽しみが日々の幸せにつながり、コミュニティー豊かなまちを市民の皆さんと一緒につくりあげてゆく。

▲宇多津町南部すくすくスクエア（子育て支援拠点を核とした施設整備）

※データ連携基盤…あるシステムに蓄積したデータを収集・加工し、そのほかのシステムへ連携して活用するための仕組み
※ ZEH…エネルギー収支をゼロ以下にする家
※デジタルディバイド…情報通信技術を利用して恩恵を受ける人と、利用できずに恩恵を受けられていない人との間に生ずる格差

後期基本計画の策定

問 事業評価に※データサイエンスの知見を活用すべき。

答 成果指標の設定段階での活用はスケジュール的に難しいが、施策実施段階での実施記録の収集や、政策評価の段階での比較データの収集などには活用できる可能性が十分あるので、実現に向けて取り組みたい。

問 グランドデザイン実現の可能性がないのであれば、方針転換の説明を市民に行うべきではないか。

答 財政面をはじめとする事情から、グランドデザインの実現が極めて困難である。

令和5年度の総合計画後期基本計画策定時には、実現可能なものを踏襲しつつ、市民や議会の皆さま方の理解を得ながら、グランドデザインで示したイメージについても方向転換を行いたい。

コミュニティー再編の指針

問 公共施設の複合化について、さまざまな組織が旧町の枠組みのまま活動している状態で、これまでその活動でほぼ占有できていた施設がなくなっていくことに市民は困惑し、各論反対を招いている。※コミュニティーデザインを市民に示してほしい。

答 令和7年度の合併特例債の期限が迫り、市の財政状況も厳しい中では、コミュニティーの在り方を含めた見直しが必要だと考えている。

その他の質問

○知・体・心を育み、自分らしく暮らせるまちについて

宝山湖ボールパーク

問 用地取得の状況はどうなっているのか。

答 土地所有者である独立行政法人水資源機構と協議を重ねてきた。今後は、用地取得の可否を決断する上で不可欠な土地の鑑定評価の実施に向けた準備を進めたい。

問 健康づくりの拠点としての活用計画はどうなっているのか。

答 多目的グラウンドは、定期的に市民に無料開放し、自由にスポーツや体力づくり、レクリエーションなどに活用いただくことも検討している。また、宝山湖畔では、季節ごとに移り変わる景色を楽しみながら、一人でも取り組めるウォーキングを推進したいと考えている。

問 施設運営の収支計画はどうなっているのか。

答 施設は、令和5年10月から供用開始することとしている。通年稼働となる令和6年度以降の年間収支の見通しは、施設使用料などによる収入が約750万円、施設維持管理などの支出が約4550万円となり、市の財政負担が年間約3800万円となる見通しである。

▲整備が進む宝山湖ボールパーク

ガバメント・クラウドについて

問 ガバメント・クラウドは、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、基幹系20業務システムについて、デジタル庁が開発されたシステムだが、三豊市として対応、準備は十分できているのか。また、利便性はどう変化するのか。

答 基幹系20業務は、9部署にまたがって利用しており、令和7年度中のガバメント・クラウド移行に向けて調査し、対応表の策定を進めている。観音寺市や三観広域行政組合とも並行して協議を進めており、移行後の広域電算センターの在り方も含めて検討している。多くの自治体と同様に、妊娠の届出、保育所利用申し込みなどをオンライン申請できるよう用意している。介護保険関係の手続もオンライン申請できるよう関係各課と準備を進めている。

三豊市独自の脱炭素社会について

問 三豊市としても脱炭素社会、カーボンニュートラルに向けて、三豊市独自の取り組みを問う。また、環境省において地域脱炭素・再エネ推進交付金というのがあるが、三豊市として、エントリーしたのか問う。

答 三豊市独自の課題があり、森林や耕作放棄地等、十分に利活用されていない資源を最大限に利活用し、温室効果ガスを削減しながら、地域課題の解決に寄与する施策が三豊市独自の施策になり得るものと考えている。再生可能エネルギーポテンシャルは、三豊市においては非常にハードルが高いというのが実情であり、現在も先行地域に向けて検討を重ねている。

原稿は質問者本人が書いています。

※データサイエンス…データから有益な知見を得ようとする学問分野
※コミュニティーデザイン…人々のつながり方やつながる仕組みを設計すること

一般質問

ここが聞きたい

3月定例会では、3月8日、9日の2日間、9人の議員が一般質問を行いました。質問者順に要旨を掲載します。

為広員史
議員

みとよ市民病院を利益の出る、市民に慕われる病院にするための施策について聞く

問 市民や近隣の医院・施設から救急車で病人やけが人を搬送するときに、みとよ市民病院へ問い合わせると、みとよ市民病院は救急病院であるのにもかかわらず、要請時に医師が不在だとか、ベッドの空きが無いとかで、よく断られるという苦情が寄せられている。現状と今後の対策について聞く。

また、令和3・4年度で総額6億円近いお金が三豊市から病院へ長期貸付金として貸し出されている。これについても、どのように対応していくのかも聞く。

答 みとよ市民病院では2次救急病院として救急車の受け入れを行っており、昨年5月の移転開院から今年1月までの9カ月間で236人の救急車による救急患者を受け入れている。このほか、休日や夜間には救急車以外の患者の受け入れも行っている。救急車の受け入れの際には、診察可能な医師の有無、病室の状況、患者の病気やけがの状態等により、やむを得ずお断りする場合も現実として多くある。特に夜間や休日については、医師1人での対応となっていることから、お断りするケースも多いという事情がある。現状でできる対策として、オンコール※による医師の応援体制の充実などの対策を講じていく。ちなみに三観広域行政組合消防本部のみの実績になるが、令和4年5月から令和5年1月までの9カ月で433件の依頼があり、うち受け入れ件数は83件で19％の受け入れとなっている。長期借入金については、引き続き経営改善に取り組み、借り入れの際の返済条件により一般会計へ返済していく。

▲三豊市立みとよ市民病院

金子辰男
議員

薬用作物の産地化に向けてのプロジェクトについて

問 次世代に地域農業を引き継ぎできていないと考える。薬用作物の目指す目標と三豊市の農業政策、どこにフォーカスしようとしているのか。

答 薬用作物は、生計を立てるような経営を勧めていない。補助的なものとして、また収入を確実に得るため推進している。

問 薬用作物の栽培の魅力は何か。情報発信の場を考えているのか。本当の産地化は可能なのか。

答 漢方製剤等の需要は増えており、本市の薬用作物は実需者との契約栽培であり、全量買取である。小規模面積での栽培が可能である。契約栽培なので手元に残るものはほぼ無いが情報発信の手段を検討したい。市全体の栽培規模を拡大して産地化を目指す。

三豊市の死亡数、出生数について

問 コロナ禍での出生数、死亡者数は。人口減少を前提とした今後の市政の対応を問う。

答 出生数、令和3年343人、令和4年292人と減少した。死亡数、令和3年1025人、令和4年1099人である。人口減少が加速度的に進んでいる。コロナ感染による死亡を含め、死因別の数字は把握していない。人口減少の中でも、高い満足度を得られる施策の必要性も認識している。キーワードは、デジタル化だ。

問 出生数減の不安より、充実した人生を送るための施策はないのか。

答 2025年問題※に対し、医療、介護等のサービスの効率化を高める。現場を支える方々のバックヤードをデジタルによって効率的にできる準備が必要。デジタルは生活を便利で豊かなものにする一つの手段。人口減少時代にも幸せなまちの構築に努める。

※オンコール…医師が容態の急変があった患者や救急搬送時に対応するため、自宅や医療機関周辺で待機をする業務
※ 2025 年問題…団塊世代が 75 歳以上の後期高齢者となり、日本が超高齢化社会になることに付随して起こる問題

高木　修
議員

高麗人参の水耕栽培について

問 高瀬茶業組合における高麗人参の水耕栽培については、着想と取り組みが新たな挑戦として注目される。

民間事業者の取り組みではあるが、この事業の現状と、農業政策として、これをどのように位置づけているのかを伺う。

答 茶栽培農家で組織する高瀬茶業組合が、新規事業として生で食べられる高麗人参の新芽（スプラウト）の水耕栽培に着手した。

茶業組合では、年間最大で50万本の生産が可能な、国内最大級の栽培プラントを、茶葉加工場の空きスペースに整備している。

現在市では、このことを農業が置かれている厳しい現状を打破するための新たな取り組みとして、販路開拓・拡大による売り場づくりを目指すなど、積極的に支援している。

▲高瀬茶業組合高麗人参栽培プラント入口ブース

鳥獣被害対策の再構築について

問 例年にも増して鳥獣被害が拡大。特に、イノシシが民家付近にまで立ち入り、人的被害が懸念されるような事態になっている。

抜本的な被害対策を講じる時期に来ていると思うが、今後の対応策を伺う。

答 耕作放棄地等の増加により、イノシシ等の野生動物の生活圏が広がり、民家周辺にまで被害が拡大している。

鳥獣被害対策は、本市の農業振興に欠かせない重要施策である。三豊市鳥獣被害防止計画に基づき、年間を通して対象鳥獣の捕獲を軸に、農作物の被害減少を目指している。

また、対象鳥獣により市民の皆さまの生命・身体に危険が及ぶような場合は、県や地元警察とも連絡を取り合いながら、緊急時には直ちに担当職員を現地に派遣し、鳥獣被害対策実施隊の方々と一緒になって対応している。

今後は、これまで以上に集落柵の整備や緩衝帯の設置、里山森林整備により、人の生活圏に寄せ付けない対策にも取り組む。

横山　強
議員

讃岐造船跡地について

問 讃岐造船跡地に計画の失敗に対する交付金や助成金の返還義務。

答 水族館事業で国の地方創生推進交付金約962万、グランドデザインで助成金700万円、基本構想で特別交付税で約373万円を充当するし、さまざまな財源を活用し計画したが、逆に事業費等の損失を招く結果、これらの交付金や助成金は返還を求められていないが、返還の義務が生じても仕方のない失敗したことについて、質問者に対し、深くお詫び申し上げ、市の業務は市民の税金で成り立っていることを心に刻み、常に取り組みたいと考えている。また税金や交付金等の費用とそれに対する成果の観点からも横山議員の御指摘に対し、深く反省している。今後は、このことを教訓として、経費の無駄や損失を招かないよう、特に造船跡地の整備計画は、これまでの失敗を必ず取り返すよう、鋭意、設計から整備工事まで、即令和5年に遂行したい。したがって、6月の補正予算に対しては、引き続き造船跡地整備を進めていくには、土壌検査の実施について令和5年度で切れ目なく予算を対応してまいりたい。造船跡地の今後の利用方法は令和4年6月議会の一般質問において横山議員からご提案をいただいた方針と12月議会の私の答弁からぶれることなく計画を進めてまいりたい。質問者の横山議員には今後も一層のご指導、ご協力を賜りたい。令和4年6月、9月の一般質問者に対する副市長の地歴、土壌答弁の中で副市長の虚偽答弁に対し、深くお詫び申し上げる。後ほど副市長に一般質問に対する虚偽答弁の謝罪をさせるので、ご理解賜りますようお願いする。

▲令和5年3月一般質問者の設計と整備計画構想に対し市長答弁による決定した構想図

その他の質問

○土地開発公社の解散と三豊市への引き継ぎについて

原稿は質問者本人が書いています。

QRコードを読み取ると各議員の質問の動画が視聴できます。
令和5年第1回定例会会議録は6月上旬に掲載予定
三豊市議会HP ▶ 会議録検索システム をクリック

湯口　新
議員

観光について

問 三豊市の観光施策は「稼ぐ観光」に移行すべきでは。

答 稼げる観光に成長させられるよう官民が一体となり情報の一元化や発信に注力していく必要がある。

問 2025年には関西万博と瀬戸内国際芸術祭が開催されるなど、これからのターゲットはインバウンドだと考える。インバウンド対策は。

答 観光交流局のHPや道の駅などの多言語対応くらいである。観光を産業化させるために国もDMO（観光地域づくり法人）が必要だと考えている。観光交流局をさらにバックアップしてDMO化を目指しては。

答 今後進めるべきだと考える。

市内中学校の今後の取り組みについて

問 高瀬中学校の中間テストの廃止とは。

答 新しい学力観の下での学習指導や評価の取り組みの一つとして、高瀬中学校では定期テストを減らして、代わりに単元テストや小テストへの変更を検討している。各学校においても今後さらに学習の取り組みを多様な方法や場面で評価しその充実を図ることで、子どもたちの学習さらには教師の指導にフィードバックさせ、指導と評価の一体化を進め、子どもたちの資質、能力を育んでいきたい。

問 制服について。

答 令和5年度より統一デザインの標準服を導入する。多様性に配慮し、ジェンダーレス対応のデザインもコンセプトとした。これを契機に各学校の校則を見直すきっかけとしたい。

市内の小公園について

問 さまざまな障害を持った子もいるが、障害のある子もない子も一緒に遊べる公園や遊具は市内にあるか。

答 ない。導入を検討したい。

▲豊島区ではインクルーシブ遊具の設置が進められていた

水本真奈美
議員

子育て支援について

問 本市の出産子育て応援事業について伺う。

答 妊娠届時に保健師と面談の上、出産応援ギフト申請を受け、5万円を支給。出産後は乳児全戸訪問事業で面談、子育て応援ギフト申請を受け子ども1人当たり5万円を支給する。本年度から妊娠8カ月頃に妊婦と家族を対象に妊婦相談も実施する。

問 流産※、死産などを経験した方へのグリーフケアについて伺う。

答 本事業は流産・死産の方も対象としており、グリーフケアを受けられるよう配慮対応していく。

問 0歳～2歳児の未就園児の定期的な預かり事業について伺う。

答 本市の未就園児は令和4年4月現在で417人、全体の41％になる。現在は一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、子育てホームヘルプ事業などで支援している。未就園児の定期的預かりは乳幼児の健全育成や虐待防止の点から有効と考えるが、入所、入園児数や保育士等の推移を見ていく必要がある。

問 こども家庭センターについて。

答 令和6年度に設置を目指している。現在子育て世代包括支援センター「なないろ」と子ども家庭総合支援拠点が子育て支援課内にあり、県下でも数少ない事例である。「こども家庭センター」設置へ向けて、保健師や相談員が協力し一体的な支援に当たっている。

不在者投票について

問 本市の選挙人が遠隔地に所在する場合の不在者投票用紙等のオンライン請求の導入について。

答 マイナポータルのオンライン申請サービスを利用して、投票用紙等のオンライン請求が可能となり、4月執行予定の香川県議会議員選挙から対応できるよう準備を進めている。導入により即時に投票用紙等の請求ができ、遠隔地に所在する選挙人の不在者投票に有効な改善ができる。

※グリーフケア…悲しみの中にある人をサポートすること

瀧本哲史
議員

三豊市の財政状況について

問 今日本では、物価高が非常に問題視されている。

国民負担率という言葉も、ニュースなどで報じられている。

非常に行政の財務活動は分かりづらく、難しいと実感している。

できるだけ分かりやすい表現で、現在の三豊市の財政状況について、重要なポイントを意識した説明をしていただきたい。

答 まず令和3年度決算額から本市の財政状況を、仮に家計に置き換えた場合の貯金と借金について説明する。

家計の貯金にあたる、「財政調整基金」については、年度による財源の不均衡を調整するための基金で、現在69億円である。

家計でいうところの借金にあたる、「地方債残高」については、約342億円である。

この地方債残高に対して、借金の支払い費用にあたる「公債費」については、山本小学校、財田小学校、南部火葬場などの大型建設事業の償還が始まったことにより、令和3年度には約41億円となり、歳出（支出のこと）に占める割合が非常に大きくなっている。

問 今の説明を踏まえた、行政の今後の課題は。

答 事務事業の見直しや公共施設の再配置などを確実に実施し、持続可能な行財政運営を行っていく。

═══ その他の質問 ═══

○放課後児童クラブについて

西山彰人
議員

国や県の権限に属する事務に対する三豊市の対応について

問 コロナ対応は保健所の職務となっているが、感謝の声とともに、「相談をしても必要な指導を受けられず、不安を解消できなかった」など不満の声がある。また、県の開発許可を経て、急傾斜地で花崗岩の山を切り開いて太陽光発電を設置している。「大丈夫か」という声を多く聞く。熱海市の土砂崩れや小豆島の豊島問題など、行政不信から本気で心配している。コロナ感染症と同様に、不安や不信の声を県に届けることができないか伺う。

答 感染爆発の状況で保健所などの機能がパンク寸前となり、市に対しても、事業所などから多くの相談や苦情が寄せられた。開発行為の件についても、市民の声を聞き、その声を国や県等へ伝えることは大切であり、課題の解決に向け、市に権限がなくても、時期を逸することなく各行政機関へ申し入れを行いたい。

▲開発が進む太陽光発電

市民のメンタルヘルスの取り組みについて

問 コロナ蔓延により、市民生活に不安が広がっており、メンタルヘルス対策に市はどのように関わっているのか。私が職員時代に「素人は何もするな。よかれと思って声をかけても悪いかもしれない。専門的知識のある人に任せるべきだ」と言われたことがある。職員のメンタルヘルスに関わることで、専門的知識を持った職員を育て、市民の相談に応じられるようにすべきでは。

答 みとよ市民病院心療内科の公認心理師と連携を取り、令和5年度からは香川県臨床心理士会所属の専門家に職員相談業務をあえて外部委託する。これらの取り組みにより職員の知識を向上させ、市民からの相談により耳を傾けられる職員の育成につなげたい。専門的知識を持つ者が対応することが最良と考えており、早く相談してもらえるよう周知啓発に努めている。

原稿は質問者本人が書いています。

岩田秀樹
議員

電気代値上げ分助成制度の検討を

問 1月の全国消費者物価指数は41年ぶりの高い伸びで、上昇は17カ月連続である。

食料品とエネルギーの値上がりが物価全体を押し上げている。

4月には1万5千品目を突破するとも言われており、生活必需品やよく買うものほど値上がりが目立つ。

基礎年金の満額は今でも月6万5千円に過ぎない。

4月からの電気料金値上げの申請も出されている。

低所得者世帯に、4月からの電気代値上げ分助成制度の検討をお願いしたい。

答 電気代値上げ分助成制度の検討については、まず無理のない省エネ再生可能エネルギーの利活用等、各家庭において取り組んでいただきたい。

豊中地区小学校統廃合計画について

問 長期計画は、40年以上続いてきた学級編成基準が、計画期間ずっと変わらないことを前提にしてきた。

児童数と学級数の関係、教室面積や必要数などが社会動向や時代の要請に応じて対応できる柔軟な計画が必要だ。計画どおり統廃合を進めようとしているだけである。

答 豊中地区の校舎は昭和53年前後に建設され、築年数約45年。学校施設の劣化状況に応じて、修繕、改修を実施している。

避難所の設置は、小学校跡の処分を進めるが、売却の場合でも、買主に協力をお願いしたい。避難所の確保は市民の安全安心を確保する上で重要な課題と考えている。

学童保育の環境整備は、利便性、実用性を確保できる施設を新設小学校と同一の敷地内に検討している。保護者への説明は、検討案を示し意見をいただきたい。

図2　新設小学校の面積（㎡）

	敷地面積	校舎面積	運動場	体育館
新設小学校	21406	7089	8554	1215
現面積比	32.4	68.4	24.9	28.4
1人当たり面積	39	13	16	2

（「三豊市立豊中地区新設小学校（仮称）基本構想」2022年7月より作成、児童数542人）

▲新設小学校と現小学校の比較

その他の質問

○制服のリース制度について
○学校給食用パンの地元産について
○コロナ5類分類変更の対応は

原稿は質問者本人が書いています。

委員会審査

3月定例会では、各委員会に議案が付託され、その審査の経過や結果が、本会議で報告されました。委員会での審査内容を掲載します。

より詳しく専門的に

総務常任委員会

3月1日開催の総務常任委員会には、3議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和4年度三豊市一般会計補正予算（第9号）中の関係部分

問 消防団の報酬について、団員数に基づき109万円5千円の減額説明であったが、団員定数は何人で、実数は何人なのか。

答 条例の定数1091人に対して、今年度の消防団員数は1060人である。

問 Mito Pay事業について、2月28日で終了したが全額を使い切れていない人への対応はどうするのか。また、紙の商品券でも消費喚起はできると考えるが、アプリのユーザー数や今後の展望はどう考えているのか。

答 ポイント部分は失効することを知らせていたが、市民ニーズや要望によりチャージ部分は令和5年度事業に繰り越して利用できるよう対応する。またユーザー数は1万人程度で、令和4年度はボランティア参加者に地域ポイントを付与するなど実証的に行っている。今後はMito Payアプリを情報ツールとして活用し、情報発信を行っていきたい。

三豊市防災センター設置条例の一部改正について

問 新たな施設の名称は三豊市地域交流館であるが、三野町防災センターはどこに、どのような機能が整備されるのか。

答 新たな施設は、防災センターと地域交流館の複合施設となる。消防屯所機能、備蓄倉庫、研修会議室があり、大人数の利用の際には施設を一体利用できる造りとなっている。

▲建設された防災センターと地域交流館の複合施設

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

令和5年第1回定例会付託委員会会議録は6月上旬に掲載予定
三豊市議会HP ▶ 会議録検索システム をクリック

市民建設常任委員会

3月3日開催の市民建設常任委員会には、7議案と請願1件が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和4年度三豊市一般会計補正予算（第9号）中の関係部分

問 現在のマイナンバーカードの申請、交付状況はどうなっているか。

答 令和5年2月19日現在で、申請は4万8618人で対人口比76・93％、交付については4万1618人で65・86％となっている。

▲マイナンバーカード取得推進中

問 歳入の個人市民税の減額について、その要因はなにか。

答 コロナの影響による所得の減少と思われる。

問 鳥獣被害対策実施隊員の報酬の減額となっているが実施隊の隊員数の現状は。

答 高齢化や免許取得の関係等により、見込んでいた人数と比べ14人少ない166人となっている。

問 地質調査業務の減額理由は。

答 市民センター詫間のボーリング調査業務の請負残額である。

三豊市市営住宅設置及び管理条例の一部改正について

問 市営住宅の必要戸数は決まっているのか。

答 今後の市全体としての管理戸数や、耐用年数を踏まえた除却予定のものを含め、三豊市長寿命化計画において決めている。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書の提出を求める請願

賛成意見

県内で一番農業に関係の深い三豊市への影響を考えると、県において農業者の立場を踏まえて検討してもらい、農業者を守るために条例制定を含めて動いてもらいたい。

以上、慎重な審査により、全会一致で採択となった。

教育民生常任委員会

3月2日開催の教育民生常任委員会には、18議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和4年度三豊市一般会計補正予算（第9号）中の関係部分

問 健康福祉部関係で、老人福祉費の緊急通報装置、44万9千円の減額補正について、利用人数が減ったためとの説明であったが、減っているのはなぜか。

答 当初予算で85台を見込んでいたが、現在の利用台数は62台である。減少要因としては、近年、携帯電話等の通信インフラを個々で持つようになったことが考えられる。

▲貸与されている緊急通報装置

三豊市国民健康保険条例の一部改正について

問 出産育児一時金は、50万円までは病院に直接支払われ、出産した方は50万円を超えた額だけ支払うということでいいのか。

答 出産した方は、50万円を超えた場合に、超えた額だけを支払うことになる。50万円は、国保連を通じて、病院に支払われる。

三豊市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

問 市内に5施設あるとの説明だが、条例改正によりどのような影響があるのか。

答 今回の条例改正により影響があるのは、市内5つの小規模保育事業者であるが、安全計画を4月1日から策定していくことになる。

三豊市敬老祝金条例の一部改正について

問 住所は市内にあり、実際は市外の施設に入所されている方は祝金の対象となるのか。

答 施設に入所されている方は、基本的には住所変更をしていると思うが、市内にそのまま住所を有している方については、祝金の対象となる。

以上、反対討論を経て、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

意見交換会

総務常任委員会と消防団女性部の意見交換会

総務常任委員会が所管する消防・防災について、消防団において男性団員は消火活動や水害を防ぐ活動という大きな役割を担い、女性部は火災予防広報、防災知識や災害時の救急活動の普及・啓発について活動している。

はじめに、消防団女性部の活動内容について説明を受け、本会委員も参加して災害時の非常食（蒸しパン、焼きそば、ごはん）を調理し、完成後に試食した。

意見交換会では、消防団女性部の活動を通して疑問に思ったことや要望したいことなどについて、次のような意見が出された。

・要介護者の避難計画の状況と災害時の初動
・災害時の社協ボランティアセンターと市の役割
・避難所等へのWｉｆｉ環境の整備
・ＡＥＤの屋外設置
・出初式での防災意識啓発イベント等の要望
・消防団女性部の活動拠点の設置要望
・消防団員の途中入退団制度

消防団女性部は、火災予防・防災についての普及啓発が主な活動であり、コロナ禍で活動が制限されている中での活動方法を模索しているといった意見もあった。また、市の消防・防災に関する制度について調査を行うなど、自分たちができることを積極的にやっていこうとする姿勢も見られた。

当委員会は、今回いただいた意見等に関して調査研究を行い、より良い消防団活動につなげていけるように取り組んでいく。

▲意見交換会の状況

▲非常食の調理状況

視察研修報告

委員会では担当する分野について研究するために、他の先進的な自治体の取り組みを調査し、市政の発展に反映できるよう努めています。視察の研修内容をご報告します。

教育民生常任委員会

1月18日(水)～20日(金)

◆京都府京都市
「京都市立洛友中学校」不登校特例校について

洛友中学校は、「昼間部と夜間部の良さを生かし、世代や国籍を超えてふれあい学びあう学校」をコンセプトとしている。

昼間部と夜間部の生徒を交流させるなどして、工夫を凝らして学校運営を行っている。新しいことに積極的に取り組む姿勢がみなぎっている。

◆静岡県三島市
GIGA※スクール構想の推進について

三島市では、市内公立小中学校の全児童生徒を対象に、学習用ｉＰａｄ（セルラー※モデル）を貸与し、普及を図っている。

また、三島版ＧＩＧＡスクール家庭向け資料「みんなで学ぼうタブレット端末活用のルール家庭向けＱ＆Ａ」が作成されており、端末の活用がなされている。

さらに、文部科学省の専門家のアドバイスも受け入れ、熱心に取り組んでいる。

◆静岡県富士宮市
子育て世代包括支援センターの取り組みについて

「子育てコンシェルジュ」が地域子育て支援センターや地域子育てサロン、保育園、認定こども園、幼稚園などを巡回している。

妊娠、出産から子育て期まで、切れ目なく一貫して子育てサポートを行っている。

令和4年5月に、富士宮市立児童館(愛称:らっこ)がオープンし、子どもの育成や子育て世代の総合的な支援拠点として機能している。

▲富士宮市立児童館（愛称：らっこ）での研修風景

※ GIGA スクール構想…義務教育を受ける児童生徒のために、１人１台の学習者用 PC と高速ネットワーク環境などを整備する構想
※セルラーモデル…スマートフォンのように Wi-Fi のない場所でも通信可能な機体のこと

議員研修会

太田雅幸法律事務所太田雅幸弁護士をお招きして議員研修「ハラスメント研修」を開催

▲太田雅幸弁護士

研修に至る背景

令和3年に政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部改正で「候補者均等法」が改正され「性的な言動、妊娠又は出産に関する言動等に起因する問題の防止を図る」ことが地方議会に求められている。

また、令和元年「労働施策総合推進法」の改正で「職場において優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより労働者の就業環境が害されることのないよう必要な措置を講じる」とあり、この法律は地方公務員にも適用され、総務省から、適切に雇用管理上の措置を講じるよう通知されている。

地方議会については地方政府における二元代表制の趣旨に鑑みて「議会は自律的にパワハラ防止に取り組んでいく」と解釈するのが正当である。

ハラスメント防止条例制定の課題

大事なことは、どう事実認定をし、どう落としどころをつけるかという調査手続き、相談の仕組みをどうセットするか。申し立てがあった場合に、その人のプライバシーに配慮しながら事実認定をする。両者から公平に意見を聞くことが必要。外部の弁護士、大学教授等に相談、調査委託する方法もある。

倫理条例との整合性

現行の政治倫理条例と検討中のハラスメント防止条例案の規律は一部重なる。他市の倫理条例には、「但しハラスメントに関してはハラスメント条例を遵守するとしている。」等であった。

この研修を受け、現在調査中のハラスメント防止条例制定に向け生かしていきたい。

▲ハラスメント研修の様子

議会ホームページ情報

4月から、議会ホームページの仕様が2カ所変わりました。

変更点❶
議員紹介

各議員の多様な連絡手段が掲載されるようになりました

見たい議員の〈詳細〉ボタンをクリックすると、各議員の詳しい情報が見られます。

変更点❷
本会議情報

議員提出議案、意見書、請願等の「内容」が掲載されるようになりました

本会議情報 → 議決結果 をクリックし、該当する定例会を選んでいただくと、「内容」が確認できます。

三豊市議会　検索